JCHO 湯河原病院

発行　医療安全管理室
2026 年度　第 6 号

医療安全だより

コードブルーが発生した時あなたは何をしますか？





院内で行われるコードブルー訓練も開始してから 4 年目となり、今年も 9 月 17 日に B 病棟を中心に行われました。ご協力いただきました部署のみなさん本当にありがとうございました。毎年行われている訓練ですが、なぜ当院でこの様なコードブルー訓練が必要だと思いますか？そもそもコードブルーって何のコールなのかご存知でしょうか？コードブルーとは、病院内で**想定外の救命活動が必要となったとき**に、医師・看護師をはじめとした病院内のみなさんを呼び出すための緊急コールです。蘇生処置には多くの人手を要するため、放送を聞いた職員のみなさんは、部署のリーダーの指示をうけ、ただちに現場に駆け付ける必要があります。みなさんの部署では、患者さんに想定外の救命活動が必要となった際どの様に対応するかシミュレーションや、意見交換されたことはありますか？自分が夜勤の時、緊急コール番号を確認してますか？廊下で心肺蘇生が必要な面会者を発見した時、自信をもって緊急コールできますか？そもそも番号が分からない…なんてことはないですか？医療安全として訓練を行うことには限りがあります。ぜひ各部署でこの訓練の振り返りを行ってみてください。

ちょっと嬉しかったグッジョブ報告

先日院内をラウンドしていると、リハビリ訓練士の A さんが何やら歩行器と格闘中でした。何をしているか尋ねると「歩行器のタイヤに髪の毛やゴミが絡まってしまい、掃除をしています。」とのことでした。多分病棟でも訓練室内でも当たり前に行われている場面だと思いますが、私は「患者さんの安全ってこうやって守られているんだな…」と嬉しい気持ちになりました。

